K02 伝統的建造物におけるプロジェクションマッピング

情報科学部・情報科学科・助教・小栗　真弥
shinyaoguri@aitech.ac.jp

キーワード　プロジェクションマッピング、文化財

概要

文化財や和室など伝統的建造物における屋内外でのプロジェクションマッピングを可能とします。中小規模の建物や部屋の空間の良さを活かすようなさりげないコンテンツを実現します。伝統的建造物そのものの守り、活用するためのコンテンツを実現します。またプロジェクタは複数台連動させることも可能です。投影するコンテンツはそれぞれのテーマに合わせて作成し、動画や写真、リアルタイムCGを組み合わせたコンテンツで実現可能です。

セールスポイント

1．文化財や和室の空間の魅力を高めるプロジェクションマッピング
2．プロジェクタの存在感を小さくしたシステム

企業等での活用例、今後の展望等

1．和室や床、障子を用いたプロジェクションマッピング（図1）
2．建造物の内側から投影する障子を用いたプロジェクションマッピング（図2）

図 1: 和室，床，障子を用いたプロジェクションマッピング

図 2: 建造物の内側から投影する障子を用いたプロジェクションマッピング

SDGs、ゼロカーボンへの寄与

文化財建造物や和室を守り活用することは、SDGs目標 8.9にある地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するのにつながるのに加えて、11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全に貢献するための技術とコンテンツになります。

参考資料

・ 小栗真弥, et al. :“建具の特徴を活かしたプロジェクションマッピングによる新しい和室演出の試み”， 芸術科学会論文誌， Vol. 19， No. 5， pp. 86-97， 2020